

全力の輝き、それが青春。

17歳新聞

2017
3月
[第20号]

編集新聞局員

責任者 編集長 竹内 柊人
顧問教諭代表 横山 学
編集者 池田 実美 木村 伊吹

取材協力 浅井企画

プロにおハナシ聞いちゃいます!
おしえて人

お笑い芸人 流れ星さん

ボケ担当のちゅうえいさん(写真左)とツッコミ担当の瀧上伸一郎さん(写真右)は岐阜県立斐太高校の同級生。卒業後の2000年にコンビを結成し、2013年の「THE MANZAI」でファイナリストになる。2016年5月に「飛騨・濃観光大大使」に就任し、郷土の魅力をPRしている。

お笑い芸人 カズマ・スパークンさん(写真中央)

大阪府出身、2003年にデビュー。ものまねレパートリーはジャイアン、スネ夫、秦基博、米良美一など数多くある。2014年の「歌ネタ王決定戦」で準決勝に進出。高校時代から歌とものまねが得意であり、コード進行を聴いて適当なメロディーをつけるといった特技も持っている。



▲ とっても優しいお三方。インタビューでも私たちを笑いの渦に

今年度は開校110周年という節目の年。学園祭ゲストイベントの毎年開催、普通科1年のコース名変更と講座の開設、チアリーディング愛好会の発足など、新たなスタートの年でした。クラブや芸術活動ではたくさんの生徒が全道・全国大会に出場し、国公立大・難関私大の合格者も多く、輝かしい結果を収めた年でもありました。年度の最後になりましたが、学園祭ゲストインタビューとあわせて、「17歳新聞」で紹介いたします。

芸人になろうと思ったきっかけは?

ちゅうえいさん「高校の文化祭のとき、5人で雨上がり決死隊さんのネタをやったら結構ウケちゃって、それを自分たちの才能と勘違いしたのかな」

瀧上さん「美容学校に通っていた19歳のとき、ちゅうえいに誘われたことかな」

カズマさん「父が落語家、母が地方タレントで物がついた頃からギャグを仕込まれていました。父が帰ってきたらギャグを見せるみたい的家庭だったので、将来は芸人になるのだからって思っていました」

ちゅうえいさん「何、その家庭(笑)」

瀧上さん「それってオリジナルギャグ?」

カズマさん「そう。オカンが『あっちもこっちも』って言うたら、『ぶっちゃん』って言うていたんですよ(一同爆笑)」

高校生にメッセージをお願いします。
瀧上さん「我慢してやらないより、経験してみたら反省すればいい。ツイッター炎上なんか恐れるな! (笑)」

ちゅうえいさん「失敗できる時間があるときだから、周りに流されず自分がやりたいことを全力でやったほうがいい。恥をかいた分まで成長しますから。逆に高校生でツイッター炎上させたら、ちょっと才能あるかも」

カズマさん「僕は…お二人と同じで…」

瀧上さん「おい、自分の言葉で言えよ!」

カズマさん「振り付きで『ぶっちゃん!』」

オーディションで選ばれたピアノ、管弦、声楽、アンサンブルの演奏が披露された。今回初めて、男声と女声に分かれて合唱し、曲の美しさと力強さ味わえるものであった。
「被災地にピアノを届ける会」の義援活動を行い、演奏者の想いが伝わる素敵な演奏会であった。



▲ Kitora 小ホールで9月に開催

1年生はダンスと階段アート、2年生は舞台・教室展示、3年生は模擬店を発表。各クラスが工夫を凝らして学園祭を盛り上げた。多彩なパフォーマンスのステージ発表があり、着てきたお好み焼きやカレーなどお店の種類が豊富で「お祭り感」いっぱい。いろいろな生徒会企画も楽しく、大盛況な学園祭であった。

音楽科 定期演奏会



▲ 生徒会企画「中夜祭」に出演した先生たち

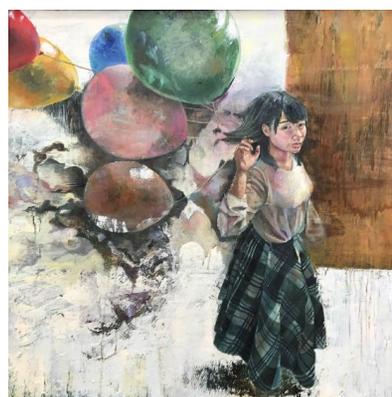
恒例の美術科1、2年生全員で作り上げる共同制作。今回はクリムトの「接吻」。校舎の壁に掲げるくらい大きな作品のため、脚の部分の細かい装飾品や顔の部分の描写はとても苦労したぞうだ。



▲ 設置するのも一苦労

学園祭 美術科共同制作

夏の全国総文祭に書道部と美術部が出場しました。秋の高文連全道大会で弁論と美術部(各1名)が全国推薦され、平成29年度の全国総文祭に出場します。さらに、美術部1年の福地さんは有島武郎青少年絵画展で2年の関井さんは道展U21でそれぞれ最高賞を受賞。ほかにも、音楽科生徒は日本クラシック音楽コンクール全道大会で3位(高校女子)4位(木管楽器)、日本バツコンクールで全国銀賞を2名が受賞。文化クラブも全道大会で多くの入賞をしました。



▲ 道展U21大賞を受賞した関井さんの作品「うしろ髪引かれる」

夏の全国総文祭に書道部と美術部が出場しました。秋の高文連全道大会で弁論と美術部(各1名)が全国推薦され、平成29年度の全国総文祭に出場します。さらに、美術部1年の福地さんは有島武郎青少年絵画展で2年の関井さんは道展U21でそれぞれ最高賞を受賞。ほかにも、音楽科生徒は日本クラシック音楽コンクール全道大会で3位(高校女子)4位(木管楽器)、日本バツコンクールで全国銀賞を2名が受賞。文化クラブも全道大会で多くの入賞をしました。

文化クラブ 芸術活動報告

夏の全国高校総体に卓球、水泳、陸上競技、サッカー、女子バレーボール、フェンシング、体操の7クラブが出場。水泳部は男子800mリレーで5位、2年中島くんが3位、3年藤井くんが5位入賞、卓球部は3年連続で5位入賞、フチシング部は3年佐藤さんが6位入賞となりました。さらに、中島くんは夏季全国JOCジュニアオリンピック大会の400m自由形にて大会新記録で優勝。ほかにも、野球部が春季全道大会で初優勝。いわて国体の北海道代表に選ばれたクラブも多く、札幌大谷の選手たちが活躍しました。

運動クラブ 全国大会報告



▲ 城南高校(徳島)に勝ち、喜ぶバレーボール部の選手たち

オオタニ高校のせんせいたちをご紹介します。
20 せんせいずかん
り科キョウムブチョウ類
ニシミチ チカラ
▼ 生息地 ツルハドラッグ
▼ 類似注意 ガチャピン
▼ 元気の源 生徒と話すこと
▼ 座右の銘 なるようになるさ



学校トピックス
合格・就職おめでとうございます! 卒業生の進路結果(2017年3月10日現在判明分、丸数字は過年度卒)
国公立大学40名(含む大学校) 私立大学259名 短期大学30名 専門学校62名(医療系16名) 就職5名
北海道大学 10名③ 札幌医科大学 6名③ 小樽商科大学 4名② 北海道教育大学 5名① 弘前大学 2名
室蘭工業大学 2名 大阪大学 1名 一橋大学 1名 京都府立医科大学 1名 筑波大学 1名
早稲田大学 2名② 慶應義塾大学 1名 武蔵野音楽大学 1名 武蔵野美術大学 4名② 中央大学 4名②
札幌大谷大学 43名 藤女子大学 20名③ 北海学園大学 13名① 天使大学 2名 ほか多数
初のJリーガー誕生! 大山くんがセレッソ大阪に入団しました。(明治大学に進学した卒業生もJリーガーに)
2017年度より「競技かるた」と「ロボット」が同好会から部になります。2クラブともに全道トップレベルの実力!